

岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート

基本目標	2「新しい人の流れをつくる」 ～若い世代の移住・定住の促進と交流人口拡大戦略～					
背景と戦略の 基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既に人口減少の局面を迎え、高齢化が進行していくことが懸念されている本市が、今後とも持続的に発展していくためには、常に新婚世帯や子育て世帯など若い世代が多く暮らしている活気のある都市、将来にわたって人口構成のバランスがよい都市にしていくことが重要です。</li> <li>●このためには、交通利便性が高く通勤・通学に便利であること、母子保健サービスや保育サービスなどの子育て支援サービスが充実していることなど、本市の優位性を最大限に生かしつつ、若い世代にとって魅力的で住みやすい都市としてさらに磨き上げていく必要があります。また、若い世代にとって住みやすいという魅力や本市に暮らすメリットをわかりやすく整理し、市内外に情報発信していく必要があります。</li> <li>●一方、市域が狭く市街地の人口密度が高いために開発余地が限られている本市では、人口流入や若い世代の転居先の受け皿となる住宅用地や一戸建て住宅等の供給が周辺自治体に比べて不足しており、これが市外への転出の要因の一つになっています。このため、空き家等の既存の住宅ストックの有効活用も視野に入れた住宅政策を進めていく必要があります。</li> <li>●それらの状況を踏まえ、常に若い世代が本市に「住んでみたい」「住んでよかった」「住み続けたい」と思える都市の実現をめざします。また、こうした定住人口の増加策と同時に、まちの知名度と魅力の向上、まちの賑わいと元気を創出していくため、観光客などの交流人口の拡大をめざします。</li> </ul>					
数値目標	指標（単位）	基準値 H25	実績値 H27	実績値 H28	実績値 H29	目標値 H31
	転入者数の増加（人）	2,133	2,066	2,073	-	2,173
	観光・交流の振興に満足している市民の割合（％）	74.3	-	75.4	84.5	85.0

施策の名称	施策の成果指標						実施内容及び評価	今後の取組及び方向性
	指標名	基準値 H26	実績値 H27	実績値 H28	実績値 H29	目標値 H31		
施策の基本方針								施策の基本方針等の見直しの必要性
1 若い世代の移住・定住の促進	空き家の利活用件数（4年間累計）	-	-	-	-	10件	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「いわくらしやすい」というシンボルメッセージを市民に浸透させるため、公共施設等へブランドロゴを活用した啓発用ステッカーを掲示するとともに、子どもを対象に、お名前シールやオリジナルノートを配布した。</li> <li>●市ホームページや応募箱に加え、中学2年生および高校2年生を対象とした学校キャラバンなどを通し、昨年度に引き続き「いわくらしやすい109の理由」を募集した結果、1,500件を超える「109の理由」の応募があった。その後、各課の若手職員やコピーライターなどによる選考会を行い、109の理由を決定することができた。また、取材等を経ながら3月までに市ホームページで公表したことで、市民と一体となり、シティプロモーションの推進を図ることができた。</li> <li>●ホームページへのアクセスは、パソコンよりもスマートフォンが中心となりつつある。トップページのスライド画像は市のイベントや施策を閲覧者に強く訴えかけるのに有効だが、スマートフォンサイトではこれまで表示できなかったため、スマートフォンでもスライドを見られるように改良した。これにより若い世代に対し岩倉市の魅力をより伝えやすい環境を整えることができた。</li> <li>●岩倉市で親世帯と同居または近居する際の住宅の新築や購入などにかかる経費を補助することを目的に三世帯同居・近居住宅支援制度を創設した。また、制度実施にあたっては、住宅金融支援機構が行っている住宅ローンの「フラット35」と連携するため、平成29年7月1日から協定を締結し連携した。</li> <li>●空き家の利活用については、空家等対策委員会で検討した結果、空き家バンクを具体化し、物件の募集を行った。また、空き家バンクの登録希望物件の調査を行う他、協会の設置する相談窓口が利用できるよう公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会と空き家対策の協定を締結した。</li> <li>●子育て世帯向け賃貸住宅の供給促進のため、定住促進プロジェクト会議で検討を進めたが、具体化には至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●名古屋駅前でのポスタージャックやデジタルサイネージを活用し、市の魅力を市外へ発信する。また、その際に使用する大型ポスターのモデルを、内容により市民から募集するなど、市民参加によるプロモーションを進めることで、市民の愛着の醸成を図り、定住促進や交流人口の増、将来的には転入促進を図る。</li> <li>●何度もホームページを見てもらうようにコンテンツの充実を図る。</li> <li>●市民や空き家物件所有者を対象とした空き家セミナーを開催するなど、PRを図っていく。</li> <li>●子育て応援住宅認定制度については、他市の同様な制度を確認しても実績が無いという実態もあるため、子育て応援住宅認定制度に替わる制度を検討していく。</li> </ul>
2 観光交流の促進による 交流人口の拡大	桜まつり観光客数	380,000 人	265,000 人	335,000 人	305,000 人	482,000 人		<ul style="list-style-type: none"> <li>●岩倉五条川桜並木保存会と協働し、桜への施肥、枯れ枝・腐朽枝などの剪定及び後継木の育成のための活動である、ひこばえ切りなどを継続して行うことにより、保存会と協働で貴重な観光資源である桜の保全を図ることができた。</li> <li>●桜まつりでは、各種イベントに加え、公共交通機関で来場する観光客向けに、まつり会場だけでなく市内飲食店を巡るスタンプラリーを実施した。新たな冬のイベントとして「冬の鍋フェス in いわくら」の開催や、NPO法人いわくら観光振興会主催の「いわくら de マルシェ」に協力するなど、交流人口の拡大を図った。</li> </ul>
	ふるさといわくら応援寄附金顕彰品の種類	9種	20種	44種	49種	30種	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の市に対する誇りや愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、全国的に誇ることができる貴重な観光資源であり、また、市民の郷土に対する愛着心や一体感を生む地域の宝となっている五条川の桜並木の保全・再生や桜まつりの充実に努めます。</li> </ul>	

岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート

施策の名称	施策の成果指標					実施内容及び評価	今後の取組及び方向性
	指標名	基準値 H26	実績値 H27	実績値 H28	実績値 H29		
施策の基本方針							施策の基本方針等の見直しの必要性
<p>●五条川の桜並木をはじめとした本市の魅力をい〜わくんキャラバン隊などを活用し、市内外にPRすることによって、住みたいまちとしての本市の知名度の向上を図ります。</p>						<p>●い〜わくんキャラバン隊では、市内外で 100 回を超える活動を通し、本市のPRをするとともに、いわくら産のトマトを使ったスイーツづくりやいわくらヨーヨー講座などのイベントを通し、知名度の向上を図ることができた。</p> <p>●平成 29 年度当初、顕彰品提供事業者数 13・顕彰品種類 44 種であったが、平成 29 年 6 月に総務省の通知に基づき 1 事業者・3 種類の取り扱いを見直し 12 事業者 41 種とした。その後、平成 29 年度中に期間限定の顕彰品を含めて 16 事業者・54 種（3 月末現在 13 事業者・49 種）に増やし、より広く市と市の特産品を市外在住の人にPRすることができた。また、顕彰品提供事業者からは売り上げ増につながった等の声も出ており、商工業の振興にもつながっている。</p>	<p>●ふるさと納税顕彰品の種類については、より広く、効果的に募集するためホームページや広報以外でも募集する方法を検討していく。</p> <p>見直しの必要性（あり・なし）</p>